

法政大学社会学部

「社会学コロキウム」第33回

法政大学社会学部開設70周年記念シンポジウム

日本の外国人労働者 ——受け入れ政策の変遷と現状

基調報告 = 上林 千恵子 (法政大学名誉教授)

報告 = 長谷川 翼 (労働調査協議会 調査研究員)

コメント [1] = 宮島 喬 (お茶の水女子大学名誉教授)

コメント [2] = 惠羅 さとみ (法政大学社会学部教員)

司会 = 佐藤 成基 (法政大学社会学部教員)

2022年11月5日 [土] 14:00~17:00

法政大学多摩キャンパス・社会学部棟 201 教室
+ Zoom によるオンライン配信

【趣旨】 2020年から始まったコロナ禍の影響で、日本は外国人の新たな受け入れを中止した。この間、日本で就労する外国人労働者の人数は減少せず、微増であった。増加率が低下しただけである。私たちはインバウンドの観光客として外国人に出会い、留学生として外国人を受け入れている。しかし、およそ170万人にも及ぶ外国人労働者はどこにいるのだろうか。日常生活の中で、彼らの就労している姿を見かける機会は意外に少ない。

彼らは高齢化の進んだ地方圏で、また製造現場で働いていることが多い。居住地域も特定の地域に集住している。実際には日本社会で働き、生活しているにもかかわらず、なかなか人目につかない存在としての外国人労働者を、今回のコロキウムのテーマとしたい。「見えないものを見る！」のは社会学部コロキウムの趣旨の適ったテーマであると思う。

主催 = 法政大学社会学部学会

参加 = 無料 (他学部・他研究科・一般の方もぜひどうぞ)

※ 参加を希望される方は以下のフォームからお申込みください。

<https://forms.gle/L5gFSV5gTFppv8929>

※※ 「社会学コロキウム」とは、法政大学社会学部という名の「知的コミュニティ」で開催される、開かれた学びの場。最新の研究成果をもとに共に学びあい、対話する研究会です。すべての法政大学生に開かれています。

問い合わせ先 = 法政大学社会学部事務課

〒194-0298 東京都町田市相原町4342 法政大学社会学部事務課気付

TEL: 042-783-2351~2354 shagaku.gakubugakkai@gmail.com



HOSEI UNIVERSITY
FACULTY OF SOCIAL
SCIENCES
1952 2022
70TH
ANNIVERSARY
社会学部
開設70周年